

# 平成16年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 100 ※記入不要	<b>提案機関名</b> 湘南なぎさ事務所 住所： 担当者名： 電話番号： FAX番号：
<b>要望問題</b> マツクイムシ防除の多面的な展開について	
<b>要望問題の内容</b> 【 背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等） 】 湘南海岸砂防林では昨年度約800本のマツ枯れが発生した。 防除対策としては、薬剤散布と樹幹注入を行っている。 薬剤散布は生活環境への影響という点では万全でなく、樹幹注入はコストの面で大面積の施工はむずかしい。 環境にやさしく低コストで防除効果も高い防除方法を是非とも研究願いたい。 (微生物資材の試験施工・菌根菌の活性化の研究等)	
<b>解決希望年限</b>	①1年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ②2～3年以内    ③4～5年以内    ④5～10年以内
<b>研究対応区分</b>	<input checked="" type="checkbox"/> ①研究所対応    ②委託研究    ③共同研究    ④その他
<b>対応を希望する研究機関名</b>	①農業総合研究所（ ②根府川試験場    ③三浦試験場    ④津久井試験場 ） ⑤畜産研究所    ⑥水産総合研究所（ ⑦内水面試験場    ⑧相模湾試験場 ） <input checked="" type="checkbox"/> ⑨自然環境保全センター

※ ここから下の欄は、回答者が記入してください。

<b>回答機関名</b>	自然環境保全センター
部 署：	研究部
<b>対応区分</b>	①実施    ②実施中    ③継続検討    ④実施済 <input checked="" type="checkbox"/> ⑤調査指導対応    ⑥現地対応    ⑦実施不可
<b>試験研究課題名</b>	(①、②、④の場合)
<b>対応の内容等</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・マツクイムシ（＝マツ材線虫病）の原因は、主にマツノマダラカミキリにより媒介される、病原性を持つマツノザイセンチュウです。</li> <li>・マツ材線虫病汚染地帯で、マツ林を維持するためには徹底した枯損木（＝マツノマダラカミキリ）の駆除、予防散布、樹幹注入以外に、有効な方法は現在のところありません。</li> <li>・マツの樹勢回復を目的とした微生物資材や菌根菌資材では、基本的に防除不可能です。</li> <li>・線虫に対する効果を謳っている微生物資材が市販されていますが、既存の報告では否定されています。</li> <li>・したがって、現時点では本要望を研究課題とするにはなじまないと思われます。</li> <li>・しかし、微生物資材の可能性を全て否定するものではありません。</li> <li>・依頼機関が新たな市販資材を試験施工する際には、試験区設定や効果確認等の現地調査に協力してまいりたいと考えます。</li> </ul>
<b>解決予定年限</b>	①1年以内    ②2～3年以内    ③4～5年以内    ④5～10年以内
<b>備考</b>	既存報告（松浦邦昭 林業と薬剤 No146 1998）を配布